

訓 示

平成25年7月3日

みなさん、おはようございます。今日から私の3期目が始まりました。初登庁の出迎え、ありがとうございました。

私は、この8年間、職員みなさんのお力をいただきながら、これまで礼文町発展のために一生懸命働いてくださった高齢者のみなさんや将来の礼文町を担う子供たち、また、島で働く多くの方のために「礼文町に元気を取り戻し、安心して暮らすことのできるふるさとをつくりたい!」「住んでよかったと誇れるふるさとにしたい」と「元気な礼文づくり」を進めてまいりました。

お陰様で、6月25日の町長選挙においては、三度連続の無投票当選という大変な栄誉を賜りました。

町民みなさんの無投票という思いと、町民みなさんの声、また、声なき声もしっかりと受け止め、これからの4年間、職員の方々とともに心を砕いて頑張っていきたいと考えております。

さて、2期8年間町づくりを行ってきた中で、わが町が抱えている最も重要で根源的かつ緊急を要するふたつの課題がはっきりと見えております。

ひとつは「人口減少の問題」、もうひとつが、これに起因する「地域経済活性化の問題」であります。

申し上げるまでもなく、地方交付税は人口が左右するものであり、町の財政にとって定住等人口施策の重要性をあらためて認識したところであります。

私は、人口の減少は町財政を圧迫するだけでなく、町全体の経済や日常生活に大きく影響することから、人口対策、定住施策を一層進め、このふたつの問題を解決することが、これからの礼文町の発展と活性化につながると考え、今回の選挙で町民のみなさんに「未来に元気のタネをまいて、元気なふるさとにしたい」と約束いたしました。

思いは、「若い人たちが安心して住めるようにする」ことであり、「子供たちの元気な声があふれる元気な町をつくって、人口減少に立ち向かう」ことであります。

そのために「真っ先に、若い漁業者の住宅問題、居住環境を改善することや漁業後継者の支援金など、漁業後継者への支援を拡充して漁業基盤を力強いものにしていきたいと思っています。早急に、空き家の活用や漁業者住宅の新規建設など、若い漁業者の住宅環境改善に努めていただきたいし、また、漁業後継者への支援についても、町独自の支援策により強化拡充する方策を検討してほしいと思います。

さらに、低迷を続ける「観光の振興」も必要です。

お客様の立場になった受入体制、環境を整えることはごく当たり前のことですが、簡単なようで実は難しいことでもあります。でも、今、礼文島には、このお客様の立場になった受入環境づくりが必要と思います。礼文島においてになったお客様に満足していただいて又来たいと思っていただけるようにするシステムをつくらなければなりません。当日でもお客様の要望にこたえるサービスを整えることは非常に難しいことですが、民間の人たちと力を合わせて離島活性化のため、積極的に取り組んでいただきたいと思っています。

私は、観光客で賑わう礼文島を復活させる「観光の振興」と力強い「観光の基盤」をつくり、「最北の癒しの島づくり」を進めていきたいと考えています。

二つ目は、若者の雇用拡大対策であります。昨年12月に立ち上げた「礼文町水産加工品開発協議会」では民間と連携して、最新鋭の冷凍技術を使って、地域の資源を生かした新しい加工品の独自開発を行い、「外貨を稼いで」若い人たちの雇用の場をつくり、地域経済の活性化を図っていくこと。定住促進のために雇用の場は欠かすことのできないものがありますので、積極的に新たな雇用を生み出す取組みを進めていただきたいと思います。

三つ目が、「子供たちは礼文の宝」「町づくりは人づくり」といわれるように、未来を担う子供たちを育み、礼文高校の魅力化を進める「教育の振興、子育て環境の改善」です。特に、礼文高校は「教育連携の中軸」となっていますので、島の環境をいかした魅力づくりをさらに進めてほしい。

また、子育て環境の改善についても、今年度から中学生までの医療費無料化や親子がゆったりすごせる「親子遊・ゆうスペースづくり」などを手がけましたが、子供たちの未来のためにさらなる検討を進めていただきたいのでございます。

ほかにも、医療、福祉、介護、保険、環境、上下水道、道路、港湾、漁港、防災など、離島で働く、あるいは安心して暮らすためのインフラ等の整備はまだまだ必要です。「礼文島が元気な島であるために」まだまだ課題は山積していると思います。

離島振興法が今年から10年延長され、離島に住み続けるためのいろいろな施策ができるようになっていきます。

新たな制度の離島活性化交付金事業として「定住の促進」「交流の促進」そして「安心安全の向上」のための事業を積極的に推進してまいりますので、みなさんには積極的に取り組んでいただきたいと思います。

特に、先ほど申し上げたように、このたびの選挙を通して「未来に元気のタネをまいて、ふるさとを元気にする」と云う町民のみなさんにお約束した「みっつの重点事業」については、直ちに取組んでまいりますので、職員のみなさんには、早急に離島活性化補助事業や過疎ソフト事業、さらに今年度新たにできた離島活性化交付金事業などの制度を活用して、情熱を持って、早期に礼文町に元気を取り戻し、みなさんが住むことに誇りを持つことができるよう、優先して取組んでいただきますよう、特にお願いを申し上げます。

さて、そのうえに立って、私の思いをふたつ申し上げたいと思います。一つは、「人のつながりを大切に」してほしいと云うことであります。私は、いつも、人と人とのつながりの大切さを肝に銘じながら仕事をさせていただいております。特に、町長として、いろいろな人と出会い、たくさんのおつながりの中で、町の進んでいく道が開けたことは数知れませんが、礼文町が多くの皆さんとのつながりの中、大きなご縁をいただいて取組めたことが沢山ありました。

みなさんも、職場での人のつながり、他の組織の人とのつながり、町民のみなさんとのつながりなど、あらゆる場面で人と人とのつながりを経験されていることと思いますが、仕事を進めるうえで、まずは、人として信頼が得られているか、それが一番大事なことであると思っています。

そして、職場においては、報告・連絡・相談の「ほうれんそう」はもちろん、まずは、挨拶をする。声掛けをする。声に出して、たえず、コミュニケーションを深めるようにする。このことが私たちに必要なことなんです。

嬉しいことに、最近、町民の皆さんからも役場に行くと元気にあいさつをしてくれた。窓口でも親切に声をかけてくれた。雰囲気も明るくなって、とてもいい・・・などと云う言葉を耳にしました。私は、本当にうれしく思っています。

これから町民のみなさんとのパートナーシップの機会がもっともっと増えていきますし、いろいろな人との出会いやふれ合いも多くなります。みなさん自身の「財産」として、より多くの人との豊かなつながりを大切にしていきたいと思っています。

そして、もうひとつは、いつも申し上げているとおり「私達の仕事は町民みなさんの幸せのためにある」という基本原則であり、職員の皆さんは「町づくりのリーダー」であると云う自覚を持つことでもあります。

特に「仕事を行う」上で生じる「間違いや失敗」それに「危機管理」に対応する原則は「逃げるな、隠すな、嘘つくな」であります。しかし、時として私達は逆のことをしようとしてます。それは、事態をさらに深刻にし、被害を大きくするのです。もちろん、誰にも間違いや失敗はあります。しかし、それを隠さないことです。私は、皆さんの心に曇りを持ったまま、仕事をしてほしくはないのです。「失敗してしまった」

「隠した、いつかバレるかもしれない」そう考えると落ち着かないものです。ヒヤヒヤしながら日々を過ごしていくことを考えてみてください。もちろん、やがて時がたち、薄れていくものかもしれません。でも、時に触れてふっと思い出す。時には、夜中に汗びっしょりで目を覚ますかもしれません。

繰り返して申し上げますが、私は、皆さんに、そんな思いを持ったまま、仕事をしてほしくはないのです。



皆さんから失敗や間違っただことの報告を受ければ、私は、怒り、怒鳴るかもしれません。

でも、決してそのままに見捨てることはしません。必ず、その後の対応と一緒に考え事態を解決してまいります。

ですから、仕事の中でミスが起きた時は、隠さず、きちんと報告し、受けるべきペナルティは受け、いつも真っ白な気持ちで楽しく、元気に仕事を進めていただきたいと思いますのでございます。

4年前にも申し上げましたが、私たち自身が、誰に対しても正直ものが正直に生きていける社会をめざすという人間としての魅力を備えること、正直ものが馬鹿をみない世の中を作り上げていくことが大事であり、まさしく私たち自身が「清く正しく美しく」働くことだと思います。

職員のみなさんには、常に、このことを求めたいと思えますし、組織としての礼文町も常にそうありたいと願っています。

結びになります。礼文町の明るい未来を切り開くため、「未来に元気のタネをまく4年間」であります。タネをまかなければ、芽は出ません。

元気のタネをまくために、厳しい中にも笑顔を忘れず、「町づくりリーダーとしての夢と情熱、そして自覚」を今一度、意識していただきますよう、心からお願いを申し上げます。訓示といたします。

どうぞ、よろしくお願いいたします。